

第35号

文連だより

編集発行／久喜市久喜文化団体連合会



久喜・中島敦の会（除幕式）



能登地震体験談



久喜美術協会（ギャラリートーク）



久喜民謡連合会（新年会にて）

「あいさつ」



久喜文化団体連合会 会長
成田 寿苑

日本は災害列島、地震や大風、豪雨災害又記録すくめの殺戮的暑さやクマの人身被害など・・・政治も大きく動き、女性総理の誕生、トランプ関税に世界がゆれ、AIBूमも起りました。又戦後八十年に当り苦しく重い体験を思い起し、平和への思いはますます強くなりました。

時代は急変しました。猛暑の続いた、9月21日本年度文化団体の事業として「防災」について「災害への備えと発生時の行動」と題し、久喜市危機管理課の宮本先生による講演会をふれあいセンターにて開催致しました。自らの命は自ら守る!!という意識を持ち行動する事を学びました。いつも運営に携わって頂く役員各位の皆様のご協力により大盛況でした。心より感謝と敬意を申し上げます。各団体共に、力を合わせ事業の充実に向い頑張っております。

この喧騒な時代の風をうまく受け止め私達は文化活動を通して楽しく健康で過せたら幸と思います。皆様の更なるご活躍、ご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

防災講演会開催

久喜文化団体連合会 副会長

佐野 均

九月二日、「災害への備えと発生時の行動」と題して、久喜市市長公室危機管理課の宮本、小林両氏を講師に招き、ふれあいセンター久喜において、講演会を開催しました。

来賓の市長、教育長、県議会議員、文連の仲間、更には一般市民の方二〇名を含む九〇名の方にご参加いただき、成功裏に終えることができました。

久喜市民にとって最も今日的な災害リスクである利根川氾濫時の対応について、久喜市防災ハザードマップに基づき、ポイントを説明していただきました。

市民一人ひとりが、居住地の浸水レベルやその到達時間を把握しておき、万が一の氾濫時如何に行動するかを決めておくことが非常に大切であることを再認識しました。



一昨年 元日に発生し、甚大な被害をもたらした能登半島地震の被害状況について、危機管理課からスライドを活用して報告されました。

実際に地震を体験された市民からのお話は大変説得力がありました。



合併十五年周年記念市展に参加して

久喜美術協会

鹿野 凱 紀

久喜市合併十五年周年記念事業でガラス工芸体験教室を企画・参加募集した際、多数の問合せがあり、十数名の方の応募がありました。

当日は、ケーブルTVの取材もあり好評で終了しました。

協会会員の高齢化が進む中、若い会員が参加するようになれば、今後の活性化が図れて良いと思う。

ガラスで世界に一つしかない作品を造って、皆様に見てもらおうと同時に友達結婚式の記念品としてガラスのウェルカムボードを贈り喜ばれております。

当クラブ活動としては、当クラブの教師として、二十数年間教えてくれた作家は、本場、パリ、ロンドン、英国のバックingham、中東のドバイ等で、個展を開き活躍しています。

先生に教えていただいた久喜市の会員OBの方を集めて、月一回の会合を開き、レベルの向上と作品造りに活動しています。市展への参加と県展へ目ざし毎年応募し昨年も二名の入選することができました。

これからの市展の繁栄を望みます。

俳句を気軽に

久喜俳句連盟

深津 博

また新しい春が巡ってきました。今日何もかもなにもかも春らしく

(稲畑汀子)

久喜俳句連盟には六つの「句会」があり、俳句を愛する七十名ほどの仲間が月一回から三回集まり、楽しく真剣に句会を行っています。また連盟としても年三回合同句会を開催し、互選のうえ上位句を表彰しています。

俳句は取っつき難いと思われがちですがそんなことはありません。俳句を初めて三年目のTさんの感想を紹介します。

「四季の表情豊かな日本に暮らしながら、自分は何も感じずに過ごしてきたのだなと少し悔やんでいます。でも俳句のお陰で、これからの日々を雲や花や鳥たちを愛おしみながら生きてゆけそうです。また辞書で言葉を調べたり、句会で自分の句がどう読まれるのかドキドキする緊張感も、定年後の得がたい時間となっています。」

さあ皆さんも俳句を始めて見ませんか。初めての方、大歓迎です。

民謡との出会い

久喜民謡連合会 光喜会

飯島 淑子

私が民謡を始めるキツカケは、太田小学校のミニテニスのサークルで鶴澤先生との出会いからです。

「民謡も楽しいですよ」とのお誘いを受け、早、二十年過ぎました。

「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに励んでおります。

民謡には作詞作曲者の在る唄と作者不詳と言われ自然発生的に生まれた唄があるとされます。どちらもその歌詞を通してその土地の歴史や文化が感じられます。

昨年は光喜会の二十周年を迎えました。稽古日は 月三回

行事として

○春のみんなよう大会

○文化団体合同発表会

○近隣連合会発表会

○早坂一門会の勉強会に参加

○ボランティア活動等に参加

○光喜会の忘年発表会等に参加しております。

これまでに多くの先生の声量ある唄を聞き私も更に勉強したいと思っております。

花、花、笑顔

久喜市久喜華道連盟

杉村 曉華

毎年床の間や玄関に松を生けて新年を迎えますが、多くの家でも同じようにしていると思います。お花は日本のあらゆる行事やお祝い事に深く関わっていますし、日常生活の中にも取り入れられ人々の心を癒してくれます。いけばなには様々な形があります。決められた形の格式花（生花）、剣山を使ったもの、投げ入れ、自由花などです。最近はお店に並ぶお花も種類が豊富になり選ぶのも楽しみです。私たちはそれらの取り合わせや色の組み合わせなどを考えて作品を作ります。無心になって生けた作品を見て「ああきれいな」と一人幸せな気分になります。この様に優しく幸せな気持ちにしてくれるいけばな、いっしょに楽しませませんか。令和8年10月下旬に文化会館広域展示室に於て合同展示会を実施致します。皆様のご来場お待ちしております。



おもてなし

久喜市茶道連盟

阿久津美紀子

十一月十六日に秋のお茶会が開催されました。

季節の趣向も美しい薄茶席をご案内し大勢のお客様がお見えになりました。道具のとり合わせ、床の間の花、香合を拝見され、お抹茶とお菓子をいただき和やかで、ゆったりとした時間を過ごしていただきました。

一月には成人式茶会が行われました。ボランティアの皆様との協力で若

々しさにあふれた野点席を設け、成人の皆様にご満喫していただきお客様から「気持ち良くお茶をいただきことができました」と大変嬉しいお言葉を頂戴し、もてなすことの意味や人と人の結びの大切さを感じました。

地域に根差した活動を通じて今後も会員一同力を合わせて一人でも多くの方にお茶を楽しんでいただけますよう努めてまいります。



落語における囲碁の楽しさ

久喜市久喜囲碁同好会

深原 秀世

囲碁は日本では平安時代から楽しまれていますが、日本独自の文化である。落語でも囲碁を題材にした噺がいくつかあります。「笠碁」「碁泥」「柳田格之進」等です。「柳田格之進」の噺は近年「碁盤斬り」という映画になり、話題にもなりました。落語の「柳田格之進」に感銘を受けた映画監督がそのストーリーを基に制作した映画です。

落語の中では全ての噺で、「囲碁が面白くて夢中になっている人達」が中心に語られています。このように昔から囲碁には人の心を惹きつける魅力があるということだと思います。

十代目・金原亭馬生の名演「笠碁」を聴くと、碁に魅入られた人の心を感じることが出来ると思います。江戸川柳に「碁敵は憎さも憎し懐かし」と謳われています。お互いに碁を打ちたくて打ちたくて仕方ないのですが…

囲碁に魅入られた人の心の動きを実に見事に表現しています。

千数百年も打ち継がれてきた楽しくて魅力的な囲碁を知らないなんて勿体ない！是非機会をみて囲碁の魅力に触れていただければと思います。

将棋との出会い・その後

久喜市将棋愛好会

河野 建一

「俺はプロになる！」と、子どもの頃にあれだけ夢中になっていた将棋だが、受験や転校をきっかけに不思議と熱が冷めてしまいました。しかし、大人になり手にした将棋の本により、またたく間に再び将棋の世界にのめりこんで行く事になります。

その頃の私の将棋の考え方は、その局面において、相手よりいい手、強い手を指せば勝てるのだらう、というものでした。しかし、前会長の横山さんとの対局では、こちらの攻めを何度も受けではね返され、攻め疲れた時に反撃されて負けるというパターンを度々くり返してきました。「将棋には、こんな勝ち方もあるんだな。」横山前会長には五百局以上も教えて頂き、大変感謝しております。おかげで、状況に応じて攻めや受けを交え、一局の将棋を総合的に考えられるようになってきました。

勝ち方が無限にある楽しい将棋をやってみませんか。将棋愛好会では大会を年五回、毎月第二日曜日の午後には中央コミセンで自由対局をしています。お待ちしております。

盆栽文化

久喜盆栽会

稲橋 光男

久喜盆栽会は会員十名で活動しています。年二回の展示会が主な活動で、研修会も行っています。日本の伝統文化はいろいろありますが、鉢の中に植物を入れ、景色を創るという文化は、千年以上前から行われてきました。江戸時代から育てられてきた盆栽が人々のリレーによって、現存しています。盆栽の魅力は、何といても歴史と大樹を表現するところだと思います。いと五十年前、百年前に行ったような、直径三メートルもあるような大木の下にこのような気もちになります。世話が大変と植物が敬遠されがちですが、小さな盆栽や草物盆栽など手軽にできるものもあり、静かな人気となっています。

久喜盆栽会に四十代の若手が入会し、盆栽を楽しむ居場所づくりを計画し、実行しています。楽しみにしてお待ちください。

千年以上続いている盆栽を絶やさずリレーしていくのは容易ではありませんが、伝統を守っていききたいと考えています。

詩吟は楽しい！

久喜市吟詠剣詩舞連盟

才木 良治

素晴らしい先生と先輩に囲まれ「吟道精神」を学びながら「二句三息」の基本と語句のアクセント、間を意識しながら奥深い吟詠に研鑽を積み重ねております。

漢詩から人生の教訓も学んでおります。今年度は驚宮小学校の「ゆうゆうプラザ」で詩吟クラブを開講することが出来ました。小学生に、漢詩と吟詠の楽しさを伝える事が少しでも出来ればと、会長はじめ先輩の皆様と一緒に活動しております。

十月の合同発表会の「プログラムには、会長発案の「私のつぶやき」の項目を設けて、吟者の吟題に対する思いや背景を書くことで、詩吟の面白さを伝えられることを念頭に試みました。漢詩や詩吟の文化がこれからも続いて行くことを切に願っております。少しでも興味をお持ちでしたら気楽にお声掛けください。部員一同、大歓迎してお迎え致します。



大きな声で歌いましょう

久喜市合唱連盟

飯野 良子

私達、久喜市合唱連盟は、今年度も十月十三日に久喜総合文化会館に於いて「第四十二回久喜市合唱祭」を開催いたしました。当日は台風の接近も予想され、心配いたしましたが多くのお客様にもいらしていただき、楽しい一日を過ごすことができました。

さて皆様は日頃大きな声を出すことがおありでしょうか？
いつもはおしとやかな人も、人目を気にする事もなく、身体全体を使って声を出すことができる。それが合唱です。

合唱連盟には現在八団体が所属しています。コロナ禍で多くの団員さんがやめてしまわれました。でも私達は歌うことをやめませんでした。

九十代の団員さんもうらっしゃいます。いつも練習が終ると「今日も楽しかったわ。今日も歌えて良かったわ。」とおっしゃいます。私達も、これからも楽しく、元気に歌っていききたいと思っております。

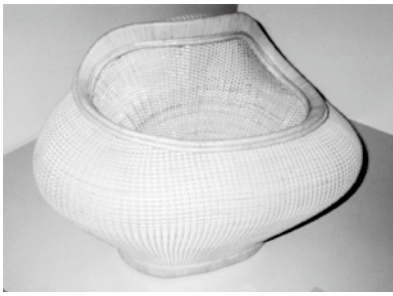
これから歌いたい方、もう一度歌いたい方。一緒に歌いましょう。

手工芸(手芸工芸)展示会

久喜市手工芸同好会

鈴木 美恵子

3月、手工芸同好会の、展示会が、中央コミュニティセンターで開催されました。出品作品は、ラタン恵(藤工芸)ステンド宙、まくらめ、押し花です。梅田市長様はじめ、県会議員の石川ただよし様、市会議員の、春山千明様の方々が、見にいらして下さいました。この方々は、毎年見にいらして下さいます。又無料の実施体験も行っていますので、今回は、2名様が体験されました。小物入れ等です。毎年、この時期に、展示会がありますので、皆様どうぞ、いらして下さいませ。今回も沢山の、友人、知人、その他の方々が、お見えになり、大変有難うございました。又来年も、皆様と、お会いできる事を楽しみにしてお待ちしています。



藤の花器

個性豊かな書の世界

久喜書道連盟

河原 輝子

子供の頃、「おかあちゃんより」という母の手書きのメモがあり、何十年たった今でもその温もりが心に残っています。書には、書く人の人柄や個性や思いがあふれ、墨の濃淡やかすれ、余白などからは、まるで絵画のような芸術性も感じられます。

久喜書道展は、十月十七日から十九日まで久喜総合文化会館にて開催され、書や篆刻など九十一一点の作品が展示されました。大きく書かれた漢字の作品からは、今にも動き出しそうな迫力を感じました。また、小筆で書かれた仮名文字の作品からは、流れるような連綿の繊細な美しさを感じました。今回は久喜市合併十五周年を記念し、歴代会長五名の作品が展示されました。個性が光り、その存在感に圧倒されました。

搬入、展示、搬出では、たくさんの方々に協力していただき感謝しています。



三月十四日は「春の舞踊会」

久喜市舞踊協会

貴志 信智

舞踊を始めて約十年になります。初舞台の緊張は今も忘れられません。先生からは「もし、振付を忘れたらその場で何回か回りなさい。そのうちに思い出すから」と言って舞台に送り出されました。クルクルと回り続けることになったらどうしようと不安でしたが、舞台に出ると緊張は消え、必要以上に回転することなく踊り終えることが出来ました。十年経った今、先生の言葉の本質は「舞台に立つたら、何があっても、堂々としなさい」だったのだと思いますを馳せませす。舞踊が教えてくれたことは数えきれません。



昭和57年に設立された当楽団は、今年で創立43年を迎えることができました。昨年は5月に久喜市立太東中学校吹奏楽団と合同で栗橋文化会館イリス大ホールでコンサートを開催し、11月に久喜市吹奏楽フェスティバルに参加し、12月にミニコンサートを開催することができました。また8月に久喜市総合文化会館で行われた天体観望会の街角コンサートにて、当団フルートパートがアンサンブルで出演させていただきました。そして昨年度からの新たな試みとして、久喜市民吹奏楽団ジュニアバンドの活動も行っています。これは久喜市立太東中学校吹奏楽の生徒さんを中心に、大田小、東小、青葉小の5、6年生の生徒さんからメンバーを募り、活動しております。

昨年度の活動について

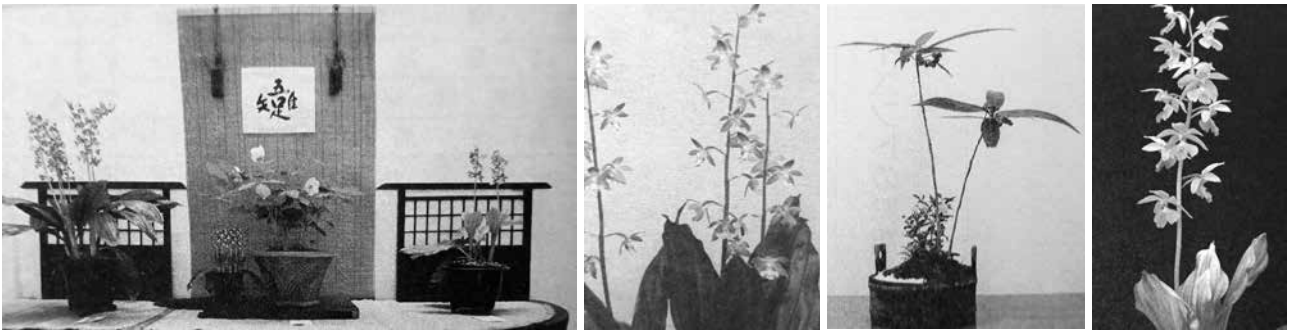
久喜市民吹奏楽団

前田 勝哉

ご興味のある方は是非ご連絡ください。



和の花会



川柳を楽しもう

久喜川柳会

宮本佳則

「川柳は面白いと思ったことを、読む人に伝わるように、自由に発想豊かに5・7・5で表現する遊びです。楽しみながら物忘れの予防にもなるのが余禄です。」

文化祭の「第二十四回久喜川柳大会」には、三十五名のご参加をいただき盛会となりました。

互選による自由吟の部では、栄えある最高点句に、次の句が選ばれました。名月を崩して入る露天風呂 soji 課題吟「スマホ」の会長選「天」

「地」「人」には次の句が選ばれました。

「天」スマホだって一人になりたい時は有る 栗原美重子

「地」朝夕にスマホが安否問うてくる 小山とし子

「人」スマホなど無い頃不幸だったるか 雷 作

例会は毎月第一日曜日の午後1時30分より東コミュニティセンターで行っています。初心者歓迎。お問い合わせは宮本まで。

時代を超えて

久喜・中島敦の会

加藤建亜

当会は発足以来こととして二十三年を迎えます。その間朗読会や講演会また研修会、さらには市内各中学校新入生全員に、中島敦紹介のリーフレットを毎年配ってきました。

市民はじめ行き交う人々に向けて敦旧居あとと久喜駅東西両口に敦顕彰の記念碑を建て、特に旧居跡には陽光という名の華やかな桜の樹を植え、かつまた太平山麓遊歩道際に、敦の伯父・漢学者練軒の碑の建立は、栃木市と久喜市と、いや栃木県と埼玉県との交流の一助にもなりましょう。

中島敦という現代稀にみる文学者に直接関る方たちも年追うごとに亡くなり、中島敦とその作品も遠い景色になりつつあります。

当会は、若い方々の文学愛・文学熱を信じて次代へ真つ直ぐ橋渡ししたい…これも大事な仕事です。

新しい年に新しい心持ちで、久喜市ゆかりの中島敦を、また新しい目で見つめていただきたいと切に念じております。みなさまの御健勝御多幸をお祈りします。



写真の仲間になろう

久喜市写真連盟

青木 朗

久喜市写真連盟は市内で活動している写真クラブの集合体です。平成七年発足以来今年で二十年を迎えます。現在四クラブが加盟しており、約五十数人が活動しています。

年々高齢化が進み若い人の入会が待たれます。本会に入会を希望するにはクラブに入らなくても、直接入会できる個人会員の部もあります。本会はクラブ相互の交流。写真情報の交換。会員同士の親睦。撮影技術の向上を目指しております。本会の昨年の活動状況は四月に山梨県北杜市の神代桜等。十一月には一泊で福島県の裏磐梯の紅葉、相馬市の松川浦の日の出と夕日の撮影会を実施。また写真展は十月に市展「写真の部」今年の三月には十九回目の連盟写真展を行います。またクラブごとに年数回の撮影会や写真展も行っております。写真を一人で行っている方、一緒に仲間になりましょう。入会を希望する方の連絡先

電話番号 090・41222・9893

青木 朗

令和7年度 会員の活躍

○第73回埼玉県美術展覧会

第一部 日本画

委嘱 齊藤博康
招待 齊藤博康

第二部 洋画

入選 尾島正市
〃 奈良智子
委嘱 城真知子

第三部 彫刻

招待 齋藤由加
〃 齋藤馨

第四部 工芸

入選 岡野美智代
〃 鹿野凱紀

第五部 書

入選 小林勝苑
〃 北村亭弘
〃 鈴木恵水
〃 春山千華
〃 石井孝翠
〃 菅谷志水
〃 赤荻北州
〃 新井文香
招待 成田寿苑

○第110回院展

奨励賞 齊藤博康

○改組第12回日展(書)

入選 須藤恵里

○日本の書展

招待 菅谷志水
〃 成田寿苑

○第68回埼玉書道展

特選 八木澤美香
(埼玉県美術家協会会長賞)

秀作 鈴木恵水
〃 春山千華

○第76回毎日書道展

佳作 掛田悠
入選 多田政隆

〃 野本敬水
〃 畑中夏邨
〃 町田扇祥

○第41回読売書法展

入選 遠藤美佐緒



久喜書道連盟



久喜市民吹奏楽団



久喜市久喜囲碁同好会



久喜市写真連盟

イベントのお知らせ
令和8年度上半期事業(4～9月)

【久喜市久喜囲碁同好会】

○春季囲碁大会

4月5日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○夏季囲碁大会

6月7日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○秋季囲碁大会

9月27日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

【久喜民謡連合会】

○第49回春のみんよう大会

4月19日(日) 10時～16時30分

鷲宮西コミュニティセンター(お

おとり)

【久喜市将棋愛好会】

○春季将棋大会

4月29日(水) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○日本将棋連盟 久喜支部大会

6月21日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○夏季将棋大会

7月26日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○久喜市将棋名人戦

8月23日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○秋季将棋大会

9月6日(日) 10時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

○研修会

毎月第2日曜日 13時～17時

久喜市中央コミュニティセンター

【久喜盆栽会】

○春季盆栽展示

5月8日(金)～10日(日) 9時～15時

久喜市中央コミュニティセンター
会議室

【久喜市民吹奏楽団】

○春のミニコンサート

5月24日(日) 開場13時30分

開演14時

久喜市中央コミュニティセンター
大集会室

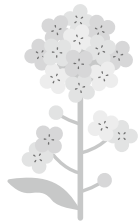
【久喜市吟詠剣詩舞連盟】

○温習会

4月25日(土) 12時～17時

鷲宮西コミュニティセンター(お

おとり)



久喜市久喜文化団体連合会

事務局 益山 典子 22-1230

団体名	代表者名	電話
久喜美術協会	松岡英世	22-7508
久喜俳句連盟	深津博	22-5699
久喜民謡連合会	井上忠昭	21-3446
久喜市久喜華道連盟	杉村暁華	22-7543
久喜市茶道連盟	金井宗喜	22-2909
久喜市久喜囲碁同好会	佐野均	090-8722-8006
久喜市将棋愛好会	河野建一	090-2405-8191
久喜盆栽会	黒須善治	21-1089
久喜市吟詠剣詩舞連盟	稲毛昭宏	58-4821
久喜市合唱連盟	飯野良子	090-3426-4482
久喜市手工芸同好会	鈴木美恵子	090-1815-1055
久喜書道連盟	益山雲扇	22-1230
久喜市舞踊協会	新西川静富士	52-0119
久喜市民吹奏楽団	前田勝哉	080-3344-0689
和の花会	濱田昌延	080-7770-1278
久喜川柳会	宮本佳則	22-4484
久喜・中島敦の会	加藤建亜	21-5500
久喜市写真連盟	青木朗	090-4122-9893



成人式でのお茶会

編集後記

「文連だより」35号の発行にあたり原稿をお寄せいただいた各団体の皆様に御礼を申し上げます。

ベネズエラ侵攻など世界情勢は混迷を深めています。こんな時こそ文化は盤石でありたいものです。地域の文化を支える当文連活動が、更に活発になることを願っています。
(深津)

生井 宗秀 深津 博
尾島 正市 小網 宗恵
才木 良治 荒木 弘行